

—ユニバーサルデザインの視点を取り入れた「わかりやすい授業づくり」—

「視覚的な情報の提示」を工夫しよう！



【指導室 特別支援教育班】

葛南教育事務所では、令和3年度葛南教育事務所重点目標の一つとして、「ユニバーサルデザインの視点を取り入れた『わかりやすい授業づくり』」を掲げています。今回は、わかりやすい授業づくりのポイントとして、「視覚的な情報の提示の工夫」について考えてみましょう。学校訪問に伺うと、多くの教室で視覚的な情報提示が見受けられるようになりました。また、ICT機器の活用の普及に伴い、機器を活用した視覚的な情報提示も進んでいる様子が見られます。そこで今一度、児童生徒にとって見やすくわかりやすい情報の提示方法を確認していきましょう。

Point 1 文字を見やすく！

さかな さかな さかな
さかな さかな さかな
さかな さかな さかな さかな

今日のきゅう食は、とりごぼうどんです。
今日の きゅう食は、 とりごぼう どん です。

「分かち書き」をすると、読み取りやすくなります。

- ・書体・サイズ・太さ・字と字の間隔を工夫しましょう。
- ・学習には、「教科書体」や「UD教科書体」が適しています。

人参には カロテン が含まれています。
人参には カロテン が含まれています。
人参には カロテン が含まれています。

からあげ からあげ からあげ

枠 や 下線 を工夫しましょう。

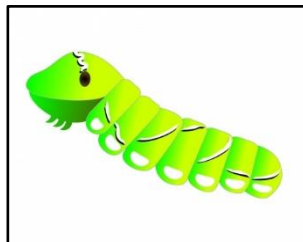
背景と字の色を工夫しましょう。

Point 2 写真やイラストは、「図」と「地」を意識！

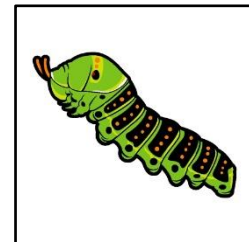
★着目させたいもの（図）が、わかりやすいのはどれでしょうか？



背景あり



背景なし



背景なし・輪郭あり

背景（地）の有無や、輪郭の有無によって、見やすさ・わかりやすさが変化します。

Point 3 情報を焦点化!

★いろいろなところに情報があると、どこを見たらよいかわからないことがあります。また、そのつもりはなくても注意が逸れてしまいやすい児童生徒もいます。



- ・ 掲示物の場所を調整
 - ・ 不要な情報にはカーテン等
 - ・ 使わない端末や教科書はしまう
- ※学校全体でルールを決めるとよいでしょう。



先生が、何に注目して欲しいかを明確に伝え、児童生徒の視線を確認してから活動に移ることも大切です。

Point 4 板書の工夫!

★見やすく、写しやすく、必要な情報が得られる板書をしましょう。

<例>

今、どこを学習しているかが、いつでも確認できるとよいでしょう。

授業の流れが分かり見通しがもてると、安心できる児童生徒もいます。小さなホワイトボード等を活用するとよいでしょう。

授業の流れ

- 1 復習
- 2 江戸幕府
- 3 グループ活動
- 4 発表
- 5 ふりかえり

学習問題

教 P.36 江戸幕府

まとめ

① オランダを通じて日本に伝わったヨーロッパの知識や技術を学ぶ学問を、蘭学という。

ノートの改訂に合わせて書くことで、写しやすくなる児童生徒がいます。状況に応じて、工夫してみましょう。

「学習問題」「まとめ」など、毎時間使うカードがあると、「何が書いてあるか」が分かりやすくなります。カードや枠の色は、学校全体で統一するとよいでしょう。



他にも、机や椅子を並べる場所（床）にテープで印を付ける、掃き掃除でゴミを集める場所に印を付ける、活動の動線が分かりやすいように道具を並べる、板書を端末で撮影し手元でノートに写せるようにする（目の動きが少しで済む）等、視覚的な情報の提示の工夫点はいろいろあります。

注意が逸れやすい・一部の情報に着目することが苦手・目の動きがスムーズでない等の特性のある児童生徒の立場になり、時には児童生徒の座席に座ってみながら、見やすくわかりやすい情報提示を工夫していきましょう。